

ダムは、大雨のとき、放流する水量を調整し、ダム下流河川の急激な水位上昇をおさえています。

令和5年8月の台風では、鳥取市の佐治川ダムで、限界を上回る雨量により、上流からの水を貯めることができなくなったため、緊急放流※を行いました。

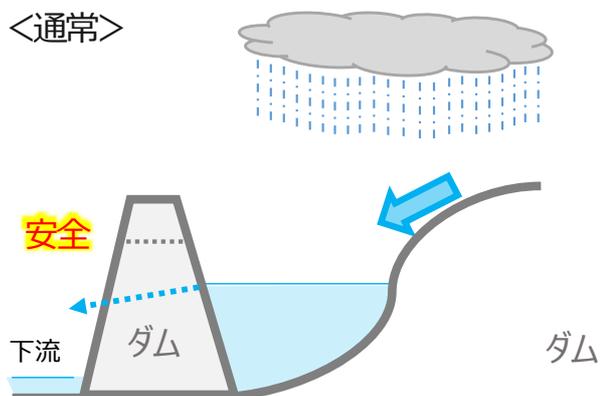
近年、気候変動による洪水リスクが高まっていると言われており、**ダムがあるから安心と思わず、命を守るため、早めの避難行動をお願いします。**

※緊急放流は下の図を参照してください。

ダムの限界

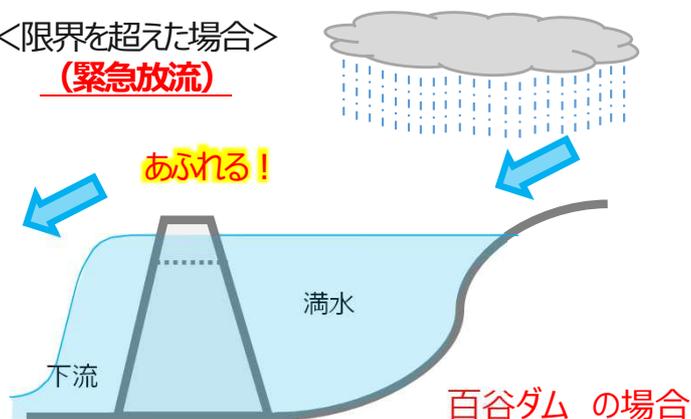
大雨のときは、上流から流れてくる水の一部をダムにためることができるため、下流は安全です。

<通常>



豪雨により貯水能力の限界を超えると、ダムに流れてきた水がそのまま下流へ流れるため、被害が発生する恐れがあります。

<限界を超えた場合>
(緊急放流)



ダム放流への備え

緊急放流の場合、河川の水量が増えて氾濫する恐れがあるため、早めの避難をお願いします。



ダム下流にお住まいの皆様は、ダムの機能や放流情報の伝達方法等についてご承知ください。



【ダムの情報】

- 県管理の治水ダム
 - ・佐治川ダム
 - ・百谷ダム
 - ・東郷ダム
 - ・朝鍋ダム
 - ・賀祥ダム



【鳥取県防災情報ポータル】

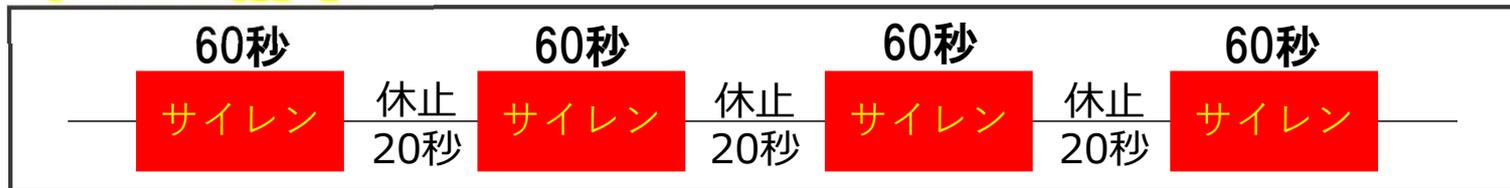
- 河川監視カメラ提供システム
- とっとりゆきみちナビ

放流の予告（百谷ダム）

異常降雨等により、ダムへ入ってくる水が多くなった場合、水量調整のため自然放流（一定以上水位になると自然に越流）を行います。

その場合、前もって警報局（百谷、滝山、立川）からサイレンを鳴らします。また、警報車による通報を行います。

<サイレンの鳴り方>



<アナウンス例>

～こちらは、鳥取県土整備事務所です。百谷ダムからの放流量が大幅に増加する見込みです。川の水が増えて危ないので、川から離れて十分注意してください。～
・・・繰返し2回・・・

<警報局の位置、警報車経路、水位観測位置>

